

日本生活体験学習学会

第 18 回 研 究 大 会 要 項

熊本では、平成 21 年の第 10 回大会、平成 25 年の第 14 回大会と開催されてきましたが、特に、第 14 回大会は「つながりが創る豊かな家庭教育と生活共同」を大会テーマに、研究発表及び公開シンポジウムを通して「子育て支援の、今」を協議しました。

なかでも、公開シンポジウムでは、政権交代という時代背景を踏まえ、「今、求められる家庭教育支援とは一子どもの生活から問題を考える」を研究テーマに掲げ、教育委員会部局（家庭教育）、特定非営利活動法人（子育て支援実践）、社会福祉法人（社会的養護施設）からゲストの登壇者をお招きし、それぞれの立場から「子育て支援の、今」が当面する現状と課題を明らかにし、問題意識を共有化する協議として有益でした。

平成 27 年 12 月、国の中央教育審議会は「新しい時代の教育や地方創生に向けた学校と地域との連携・協働（答申）」を発表、「目指すべき姿」として「地域とともにある学校への転換」「子どもも大人も学び合い育ち合う教育体制の構築」「学校を核とした地域づくりの推進」をうたいました。そしてその推進軸が「コミュニティ・スクール」とされています。平成 16 年の地方教育行政の組織及び運営に関する法律（地教行法）の一部改正により法制化された「学校運営協議会」は、10 年余を経て大きくその意味を変えてきたといえるかもしれません。熊本大会では、「今、なぜ学校と地域との連携・協働か」を踏まえた、コミュニティ・スクールに求められる諸課題が問われることになるでしょう。

9 月には、今次の熊本地震による被災からの復興が大きく進んでいることと思われまます。会場となる熊本大学教育学部は、ほとんど被害がありませんでした。熊本大会は、山城千秋会員と、古賀倫嗣がお世話させていただきます。多くの皆様方のご参加を心よりお願い申し上げます、熊本大会のご案内とさせていただきます。

大会実行委員会 古賀 倫嗣（熊本大学）

1. 期 日 2016 年 9 月 10 日（土）
2. 会 場 熊本大学教育学部 〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-40-1
3. 日 程

9/10 (土)	■受付 9:00 1階ロビー	■自由研究発表 9:30~12:10 2-B講義室	■昼食・休憩 12:10~13:00	■総会 13:00~13:50 2-C講義室	■公開シンポジウム 14:00~16:30 2-B講義室	■閉会 16:30~
-------------	----------------------	---------------------------------	-----------------------	------------------------------	------------------------------------	---------------

4. 参加費 会員：1,500 円 非会員：500 円 学部生：無 料
※当日、大学の食堂は営業しておりません。大学周辺に複数のコンビニエンスストアがありますので、昼食はこれらの施設をご利用ください。

5. 懇親会
大会前日に懇親会を開催いたします。参加を希望される会員は振込用紙にて大会実行委員会までメールもしくはファックスにてお申し込みください。なお、懇親会への当日受付参加は、予約の都合上致しかねます。ご了承ください。

日 時：2016 年 9 月 9 日（金） 18 時から
場 所：KKRホテル熊本（国家公務員共済組合・熊本共済会館）
〒860-0001 熊本市中央区千葉城町 3-31 電話 (096) 355-0121

参加費：6,000 円
申込方法：申込用紙にてメールもしくは FAX で大会実行委員会（熊本大学教育学部古賀研究室）までお申し込みください。申込用紙は学会 HP からダウンロードできます
電子メール noritugu@educ.kumamoto-u.ac.jp
ファックス (096) 342-2558

申込締切：2016 年 8 月 19 日（金）

■ 9:00~

■■ 受付

(1階ロビー)

■ 9:30~12:10

■■ 自由研究発表

(2-B 講義室)

個人発表 25分(20分発表 5分質疑) / 共同発表 30分(25分発表 5分質疑)
* 共同研究の発表者には○を付しています。

司会: 石村 秀登(熊本県立大学)

9:30~9:55 戦後70年、子ども達の生活時間はどう変わったか
横山 正幸

9:55~10:25 音楽の学習体験のない子ども達にハーモニカをどう教えたか
—カンボジア コッ・ブラック小学校での実践—
○前田 志津子(活水女子大学)
○古賀 昭光(佐世保市青少年教育センター、
前佐世保市立吉井北小学校校長)

10:25~10:50 これからの通学合宿をデザインする
~大学等における生活体験学校の模索~
野田 陽一郎(佐賀女子短期大学)

10:50~11:15 沖縄県における離島体験交流促進活動の
テキストマイニングを用いた評価と検討
平野 貴也(名桜大学)

11:15~11:45 幼児の日常生活と親のかかわりに関する考察
—2006年度調査結果との比較を通して—
○永田 誠(大分大学)
上野 景三(佐賀大学)
○大村 綾(佐賀女子短期大学)
○菅原 航平(佐賀女子短期大学)

11:45~12:10 総括討議

■ 13:00~13:50

■■ 総会

(2-C 講義室)

コミュニティ・スクールにおける生活体験の可能性

今年度より、日本生活体験学習学会では、「コミュニティ・スクールと生活体験」をテーマに議論していきます。

周知のとおり、コミュニティ・スクールは地域住民・保護者・学校が連携して学校運営を行うための組織です。ただし、その連携は、「家庭・地域の教育力低下にともなう学校役割肥大化の解消」だけが理由ではないようです。「グローバル化、保護者の雇用環境の変化、人口減少、少子高齢化、虐待増加、子どもの貧困」などの社会問題、さらに「学校存続、アクティブラーニング、ICT・情報化、外国語教育」などの教育環境を取り巻く状況など、複合的な問題状況に対応していくために連携が必要と考えられています。

本学会として見逃せないのは、こうした新しいタイプの学校では、連携による教育活動を通じて、子どもの「学習や体験活動が充実する」「自己肯定感や思いやりの心が育つ」、さらに「地域のよりどころの形成」が期待されていることです。連携の手段、目標達成に必要な教育手段、コミュニティ形成にむけた手段として、経験や体験が重要なキーワードになってきています。

ですが、コミュニティ・スクールや生活体験の可能性について理解が深まっているわけではありません。学力重視にシフトしつつある学校教育においては、生活体験をカリキュラムに組み込む事への抵抗も想定されます。そこで、本学会では、コミュニティ・スクールの広がりに伴い、コミュニティ・スクールにおける生活体験として、どのようなことが可能なのか、どのような意味があるのかを議論していきます。

初年度の今回は、コミュニティ・スクールにおいて生活体験がどう位置づけられ、どのような効果を挙げることが期待されているのか、政策と実際の両面を見ながら探っていきたいと思います。山崎清男氏（大分大学）、井上豊久氏（福岡教育大学）、千田哲夫氏（熊本県大津町立護川小学校 CS 事務局長）から報告いただく予定です。

新しいテーマで議論する初回となります。また、震災で大変な状況下での熊本開催となります。開催地の激励も含めて、皆様のふるってのご参加、心よりお待ちしております。

【シンポジスト】

山崎 清男（大分大学）

井上 豊久（福岡教育大学）

千田 哲夫（熊本県大津町立護川小学校コミュニティ・スクール事務局長）

【コーディネーター】

古賀 倫嗣（熊本大学）・長尾 秀吉（別府大学）

■ □ ■ □ ■ □ ■ 事務局からの連絡 ■ □ ■ □ ■ □ ■

◆ 書籍販売 ◆

当日は、会場内で生活体験学習の関連書籍の販売を行います。販売したい書籍がある場合、必ず事前に学会事務局（info@seikatsu-t.org）までご連絡ください。個人での持込み販売は、ご遠慮ください。

◆ 会場案内 ◆

熊本大学

〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2 丁目 40 番 1 号 TEL096-344-2111(代表)

■ JR 熊本駅から

産交バス：楠団地、武蔵ヶ丘等（子飼橋経由）「熊本大学前」下車

都市バス：第一環状線 [駅 2]（大学病院・大江渡鹿経由）「子飼橋」下車徒歩 10 分

市電 + 産交バス・電鉄バス：市電の健軍町行きに乗車し「水道町」で下車。

産交バス又は電鉄バスへ乗換。水道町バス停より、楠団地、武蔵ヶ丘等（子飼橋経由）「熊本大学前」下車

■ JR 上熊本駅から

都市バス：第一環状線 [駅 1]、昭和町線（子飼橋経由）「子飼橋」下車徒歩 10 分

■ 熊本空港から

空港リムジンバス熊本駅行き「通町筋」下車、「水道町」から産交バス又は電鉄バスで楠団地、武蔵ヶ丘等（子飼橋経由）「熊本大学前」下車

■ 交通センターから(16 番のりば)

産交バス：楠団地、武蔵ヶ丘等（子飼橋経由）「熊本大学前」下車

電鉄バス：楠団地、武蔵ヶ丘等（子飼橋経由）「熊本大学前」下車

※詳しい交通案内は、熊本大学の HP をご参照ください。

熊本大学	交通アクセス&キャンパスマップ	検索
------	-----------------	----

日本生活体験学習学会 事務局

〒870-1192 大分市大字旦野原 700 大分大学教育福祉科学部永田研究室内

TEL/FAX：097-554-7559

E-mail info@seikatsu-t.org

第 18 回研究大会 熊本大会実行委員会

〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2 丁目 40 番 1 号 熊本大学教育学部社会学研究室

TEL & FAX：096-342-2558（直通）

熊本大会実行委員長：古賀倫嗣

E-mail noritugu@educ.kumamoto-u.ac.jp